

社会福祉学科における教育G P活動報告
—2009・2010年度のチューター制度の取り組みを中心に—

社会福祉学科
空閑 浩人

1. チューターの募集について

【4月：4回生への「チューター募集のお知らせ」より抜粋】

社会福祉学科1年次科目の「チューター」募集について

社会福祉学科では、1回生の学びのサポートをして頂く「チューター」として、今年度の1年次科目（「ファーストイヤーセミナー」および「社会福祉学基礎演習Ⅰ」）に参加して頂ける方を募集します。

毎回（火曜日1時間目）の1回生の授業に出席して頂き、まだまだ学生生活への不安を抱いている後輩へのアドバイスや小クラスでの発表準備のサポート、またクラス討議への参加と助言等をお願いしたいと思っています（基本的に毎回の授業（火1限）に出席して頂くことになります）。

つきましては、このような1回生の学びをサポートして頂けるチューターを、できれば4回生の各ゼミから1名ずつ募集したいと思います（チューターには、毎回の勤務時間にあわせて手当が支給されます）。

社会福祉学科の先輩として、後輩のためにぜひご協力頂けると幸いです（チューターになるための資格はありません。意欲ある方ならどなたでもOKです！チューターのみなさんのサポートは我々教員がやりますのでご心配なく）。

また、チューターになって頂く方々を対象に、下記の通り説明会を行います。

お集まり頂きますようよろしくお願いします。

2. チューター会議（説明会・打合せ）の開催について

【4月：「第1回チューター会議」資料より抜粋】

*チューターの業務の説明と今後の予定

- ・チューターの採用期間は2010年4月～2011年2月（開講期間中）です。
- ・チューターのみなさんには、社会福祉学科1年次科目、春学期「ファーストイヤーセミナー」および秋学期「社会福祉学基礎演習Ⅰ」の授業（原則として毎回）に出席して頂きます。（春学期は5月11日（火）からの参加になります。）
- ・具体的には、全体クラスの授業にも参加していただきますが、主には各小クラス（全7クラスあります）に入って頂き、クラス担当教員の指示のもとで授業に参加して頂くことになります。1回生の発表や意見交換にメンバーとして入ってもらい、また発表準備や文献収集、レジュメ資料作成等のアドバイスを頂く、などの業務となります。
- ・春学期と秋学期の終わりに「チューター企画」を用意しています。ご協力お願いします。
- ・毎回の業務報告をチューター用HPに入力して頂きます。
- ・また春学期と秋学期に振り返りレポートを提出してもらいます。
- ・チューターの方には、アルバイト代（時給880円）が支給されます。
- ・今回の取り組みは、文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育G P）」に本学社会学部が採択されたことに伴っての実施となります。

3. チューター企画の実施について（その1）

【7月：「チューター企画についてのお願い」より抜粋】

ファーストイヤーセミナー：チューター企画

シンポジウム「私の学生生活を振り返って～1回生に伝えたいこと～」

チューター業務、いつもご苦労様です。

あらかじめお知らせしてましたように、標記のような企画を7月20日（火）の授業で実施予定です。チューターみなさんに、これまでの自分の同志社大学社会福祉学科での学生生活について振り返ってもらい、これから本格的な学生生活がはじまる1回生へのアドバイスやメッセージとして伝えて頂きたいと思っています。

といっても、決して難しいことや堅い話をしてくださいというわけではありません（もちろんそんな話もありですが・・・）。たとえば、「私は同志社大学社会福祉学科に入学後、こんな気持ちで、こんな体験をしながら、こうやって、これまでを過ごして来ました。そして4回生になった今、振り返ってこう思います。だから、このことについては、ぜひ1年生のみなさんに伝えたいです・・・」といった感じの流れで、自分自身のことをお話して頂ければ結構です。

勉強、遊び、クラブ、サークル、課外活動、実習、アルバイトのことなど、また悩んだことや楽しかったこと、今となれば後悔していること、学び多き経験になったこと・・・そして1回生へのメッセージなどなど・・・自由に語ってください。時間は一人10分とします（7名全員にお話ししてもらうので、時間の制限はお許してください）。それぞれの話しの補足となる簡単なレジュメ（A4一枚）を用意してください。話しの内容について簡条書き程度で結構です。当日、みなさんのレジュメを冊子にして配付します。話す内容については、基本的にみなさんにお任せしますが、一応「授業の一環としての企画」なので、そのあたりはご配慮ください。

不明な点など、遠慮なく空閑までお尋ねください。よろしくお祈りします！

4. チューター企画の実施について（その2）

【1月：「チューター企画（第2弾）についてのお願い」より抜粋】

社会福祉学基礎演習Ⅰ：チューター企画（第2弾）

シンポジウム「私の卒業研究を振り返って～大学で学ぶということ～」

チューター業務、ご苦労様です。いよいよ今年度の授業も終わりを迎えます。

あらかじめお知らせしてましたように、標記の企画を2011年1月18日（火）の授業で実施予定です。

チューターみなさんに、自分の卒業研究について振り返ってもらい、卒論完成までの話とともに、自らの「大学での学び」の全体を振り返りつつ、これから本格的な学生生活がはじまる1回生へのアドバイスやメッセージを伝えて頂きたいと思っています。

なお、今回は「卒業研究を終えて、今振り返る大学での学び」ということがテーマになっています（前回は「キャンパスライフバージョン」で今回は「アカデミックバージョン」という位置づけです）ので、その趣旨をふまえていただければ幸いです。（とはいえ、決して難しい話をしてくださいということではありませんので、ご心配なく・・・気楽にやってください。）

たとえば、以下のような項目（ご参考まで）でレジюмеを作ってください。

- ・卒業論文題名
- ・そのテーマを選んだ動機・理由
- ・卒論で主張したかったこと
- ・卒論作成の過程で苦労したこと
- ・卒論を書き上げての感想
- ・大学4年間の学びを振り返って：1回生へのメッセージ など

時間は一人10分とします。

それぞれの話しの補足となる簡単なレジюме（A4一枚）を用意してください。上の項目例を参考に、話しの内容について箇条書き程度で結構です（そのレジюмеと卒論梗概集用のみなさんの原稿（提出してもらったものをこちらで用意します）とをあわせて一人分の発表資料とします）。

当日、みなさんのレジюмеを冊子にして配付します。

5. チューターの振り返りから

*最終回（1月25日（火））の活動記録より抜粋

①最後の授業、この1年間チューターとして関わったことを振り返ってみるとあつという間でした。先生と1回生との間でどういう立場で授業に入っているのか悩みながらでしたが、先生からの感想や、1回生のコメントカードからもチューターとして関わられてよかったと思いました。一緒に授業に出ていて学ぶこともできましたし、いつもと違った形で授業に参加できてよい経験ができました。1年間ありがとうございました。

②今日でチューターとして最後の授業だったわけだが、やはりあつという間であった。1年を通して、いろいろな経験ができ、チューターをしてよかったと思った。個人的には、来年もこのような制度を続けて行ってほしいと思う。チューターの制度があるのとないのでは、どのくらいの差があるのかはわからないが、4回生目線からは良い経験になったと感じているので、続けて行ってほしい。先生方のお話が、自分としてもこの1年見て、体験させていただいた中で共感できるものもあり、振り返りを深められたかなあと考えています。これから現場に入る身として先生の言葉を肝に銘じ、未熟ながらも覚悟をして次につなげていきます。一年間、チューターとして講義に関わらせていただきありがとうございました！

③今日は、最後の授業ということで大クラスでありました。先生方の総括とチューター学生の振り返りを話して、解散となりました。今日で最後なんだなあと思うとしみじみしました。その後の先生方との振り返りでは、先生方にとってのチューターの存在とチューター学生の感じたことなどを話し合えたのがよかったなと思いました。来年どうなるかわからないにしろ、ちゃんと消化して共有し合うのは大切なことだと思いました。来年から、一回生のみんなには力いっぱい大学生を楽しんでほしいと思います！

④最後の最後までしゃべる機会があってちょっと緊張しました。でもなんとかしゃべれてよかったです。一年間チューターをやってみて、大きく言って二つのことを感じました。一つは、社会福祉の勉強の連続性です。一回生の授業がまだまだ全然新鮮な部分があって、福祉の奥深さと果てしなさを感じました。二つ目は、チューターという明確でない存在定義の役割をこなす難しさです。求められているものを感じながら、範囲内でやるべきことをやるのは試行錯誤でした。でもすごく勉強になりました。働き出す前に、こういう経験をしておけてよかったなと思います。一年間、本当にありがとうございました！！

⑤今日で、1年間の授業が終わりました。先生のお話では、厳しいお言葉もあり、優しいお言葉もあり、1回生の心にはどう響いたでしょうか。1年間、1年生と過ごさせていただいたチューターも今日が最後です。私から、1回生が何か刺激を受けてくれていたらいいなと思うとともに、私自身も、1回生に良い刺激をたくさんもらった1年間だったように思います。先生方、1回生のみなさん本当にありがとうございました。

6. その他

* 社会福祉学科学生委員会主催企画（「車いすバスケットを体験しよう」）の実施

- ・ 教員のサポートを基に社会福祉学科3回生が中心となって企画
- ・ 学科所属学生および他学部・他学科生への呼びかけ
- ・ 「福祉」を身近に体験する機会をつくる